



広報 ロザリオ

第150号

社会福祉法人
ロザリオの聖母会
千葉県旭市野中4017
Tel (0479) 60-0600
ホームページアドレス
<http://www.rosario.jp>
Eメールアドレス
honbu@rosario.jp



目次

巻頭写真「聖家族園 クリスマス会」	1	ご寄附に感謝	8
年頭所感	2	餅つき大会	8
創立記念日行事	3	新任者紹介	8
障害者週間行事	5	第27回福祉作文コンクール入賞者	9
有限会社ブライトピックグループ様からの寄贈について	6	各種表彰者	10
さわやか芸能発表会	6	寄附者御芳名	10
今年度も Mado-ka クリスマスフェアを開催!	7	フォトギャラリー	12
イオンサンタ	7	行事予定	14
靴下カバーの寄附	7	みんなの家よりバレンタイン商品のお知らせ	14
素敵な手作りプレゼント	8	職員・ボランティア募集のお知らせ	14

年頭所感

理事長 桑島克子

明けましておめでとうございませす。

この地域の年末年始は穏やかな冬らしい気候で、一瞬明るい気持ちになりました。また、冬至を過ぎて二週間経ち日が伸びた事を実感しています。

職員の皆様も一週間近い休暇を有効に使われましたでしょうか？入院病床を抱える事業所、入所施設の現場や相談系の皆様には少ない職員数で勤務して頂き有難うございます。聖母療育園では元旦の朝からインフルエンザAが猛威を振るい、二日には保健所に届けました。職員にも体調不良者がでて、短期入所予定者には電話でお断りいたしました。なんとなく油断と慢心があったと反省しています。

世界情勢は素人目にも協調より、自国中心が目立ち、日本の指導者は戦力の増強をはかり、自国の経済発展を目指しています。日本のすべての階層の幸せは先ず、一部の階層が恵まれ、その後

下々に恩恵が零れ落ちることによって成就されると考えているように見えます。経済が逼迫した時、福祉関係の予算が種々の理由をつけて削減される可能性を危惧しています。新聞の投書欄に戦争の音に不安を掲げているのは第二次世界大戦の影響を経験した年齢層が多数をしめています。

今年のニュースを新聞等でみていくと、京都大学本庶佑特別教授のノーベル医学生理学賞受賞は長年の努力と思考の結実であり、ニュースで見える姿は心温まる雰囲気を与えています。それに比べ国会の場で見える首相をはじめ閣僚や政府高官の皆さんは多くの国民が見ているにも拘らず真摯な空気が伝わりません。これらを変えていく即効性のある方法はありません。しっかりと足を地に着け目を凝らし一ミリでも押し返す根気が必要です。

今年も地震、台風水害など日本列島のどこかで大きな被害を残しています。後の後悔先に立たずと

嘆く事の少ないように東日本大震災の経験を生かして後の利用者・職員のため防災訓練が実効性のあるものに更新して行きたいと思えます。

相変わらず検査データの改ざんが同じ会社でも行われるのは門外漢には信じられないことですが決まりの方が厳しすぎるのでしょうか？そんなことはないと思います。それでも繰り返されるのは、人は騙せても神を欺く事はできないという倫理観が欠如しているのでしょうか？

前ゴーン日産会長のお金に関する執着は何処から来るのでしょうか？あの金額の報酬を得てこれ以上あつてなにに必要なのか？更に上積みしないと不安になる不幸な性格なのか？聖書に記載されているように、多額の富を持つていても今晚死んでしまうかもしれないのに。お金に対する執着は限りがないもので、幾らあつても、「これで十分」とはなりにくいことを肝に銘じましょう。

昨年は人手不足に振回され事業収入が減収になった事業所がいくつありました。人口構成と後期

高齢者の増加、福祉業界以外の分野での求人増加など諸条件が重なっているのです。即効性のある対策の決め手はないことは皆様も承知の事と思います。本来障害児・者に対する福祉事業は国の方針によつて収入が決められているのでその方針に合わせて事業展開をする必要があります。職員不足は配置基準が下がり、収入減となり、サービスの質を下げることとなります。

ロザリオの聖母会の創立者は収入を得る仕事としてというより、弱い立場の方々に奉仕することを目指していたと思います。創立グループの人だけで事業をしている間は自ら持ち出した資金とその運用益や寄附で運営可能であったが、職員を雇い入れるようになってとしっかりと経営が必要になりました。経営の経験者の親族から指導や援助を受けて、日々、弱者を支える使命を果たしておられた。当初の対象者であった結核患者の減少に、一般職員の勤務継続と創立時の理念の継続の為、当時の社会的弱者である精神障害者の療養に対象を変更して弱者を支えることで信仰の道を歩み続けられ

た。昭和から平成に変わる頃、細瀬前理事長が事業に加わりあらゆる障害に対応しようと事業展開されたのは皆様よくご存知です。カトリック新聞の最新号にイエズス会の川村神父様の書かれた「伝統を紡ぐ」の文の中で以下の文がありました。

「伝統」とは何でしょう。それは人から人に伝えられるもの。しかも、当時もたれた強い思いを、その思いを共有していない後の世代に受け継ぐことが伝統です。それは、始めた人より、より大いなる情熱をもちいてこそ伝わるものかもしれない。「伝統」とは心して（日々意思を新たに）紡ぐものです。

ロザリオの聖母会の理念の真髄を受け継ぎ、次世代に引き継いで行くのは皆様方です。職員の皆様が力を合わせて、協力し合えば、難しいことはありません。事業の問題点から逃げないで解決への足取りは遅くとも後回しにすることなく一歩踏み出してくだ

さい。反発や拒否は度重なると、前に進むどころか、後退や分裂の危機があります。自分と同じ考えの人間はいません。各々が自分の長所と短所を出来るだけ過不足なく認識し、短所に向かい合い克服するよう努力してみましよう。

プロテニスプレーヤーの大坂なおみさんが、昨季のスタート時点で世界ランキング68位だったのが、10月4位になりました。自分でも信じられないと話された。昨季からついたコーチが徹底的に欠点に向き合わせ、自身をコントロールする重要性を説かれた。事業でも自分の感情を制御し仲間と協力し合うことを継続してください。どんなに頑張ってもひとりで出来ることより、気の合わない仲間でも意見をお互いに言い合える環境が利用者の為に良い結果が得られることを経験して下さい。

今年が皆様とご家族にとって平和な年でありませうお祈り申し上げます。

創立記念日行事

法人本部

専務理事 石毛敦

カトリック暦では10月7日はロザリオの聖母の祝日であり、本会の創立記念日でもあります。この祝日を目前に控えた10月3日（水）13時から本会の小原ケイ記念聖堂に於いて、創立記念日行事が執り行われました。

第1部は、職員の多年にわたる功績を称えて永年勤続表彰が行われました。本年度の受賞者は、勤続20年が3名、10年が15名の合計18名でした。表彰式では本会理事長桑島からの祝辞に続き、受賞者に表彰状と記念品が授与されました。その後受賞者代表として高齢者支援センター所長・井上からの謝辞が述べられ、式は終了しました。

第2部は、カトリック宇部・北若山・高千帆教会（山口県）の主任司祭である片柳弘史神父による「マザー・テレサに学ぶ奉仕の心」と題した講演会でした。

片柳神父は1971年埼玉県上尾市生まれ。1994年慶応大学法学部法律学科卒業。1994

95年カルカタにてボランティア活動中にマザー・テレサから神父になるよう勧められ、2008年上智大学大学院神学研究科修了。イエズス会所属。現在は山口県宇部市で教会の神父、幼稚園の講師、刑務所の教誨師を務められています。『世界で一番大切なあなたへ』マザー・テレサからの贈り物』『あなたのままで輝いて』マザー・テレサが教えてくれたこと』(以上PHPR研究所)『カルカタ日記』マザー・テレサに出会って』『祈りへの旅立ち』マザー・テレサに導かれて』(以上ドン・ボスコ社)など著作多数で、全国放送のラジオ番組『心のともしび』原稿執筆者でもあります。本年10月2日には著作の『こころの深呼吸』(氣づきと癒しの言葉366) (教文館) により、キリスト教本屋大賞を受賞されています。

ご講演の際には、大学卒業後カルカタにマザー・テレサを訪ね

てボランティア活動に従事した際の様々なエピソードを披露していただきました。

マザーとの初対面の際には、アポイントを取らずに訪れたにも関わらず、自分がマザーに最も愛されていると感じられるほど、大事にされた印象を抱いたこと。この印象はマザーに対面した人が共通して抱く思いであること。ボランティア活動をしばらく続けた後に、神父になることを勧められたこと、などから始まり、次いで来訪者へのマザーの対応のポイントとしては、

- ①笑顔（あなたに会えてうれしい）
 - ②目の輝き（最愛の人に会ったようにキラキラと輝き、外見ではなく、その人の命の輝きを見ている。）
 - ③傾聴（ほとんど自身は話さずに、相手の話しをよく聞く）
 - ④ぬくもり（話す際には、相手の側にピタリと寄り添う）
- の4点で、全身であなたが大切というメッセージを伝えたそうです。

続いて、マザーご自身の言葉を紹介していただきました。



「たくさんの人が訪ねてきますが、私にとってはそのとき、そのときに目の前にいる人がイエス・キリストであり、私のすべてです。」

「あなたは愛されて生まれてきた、大切な人。」

「周りの人から受け入れられず、自分でさえ自分を受け入れられないときでも、神はあなたを受け入れて下さいます。」

「愛されるためには、自分と違ったものになる必要はないのですよ。ありのまま愛されるためには、ただ心を開くだけでいいのです。」

「私にできないことが、あなたにはできます。あなたにできないことが、私にはできます。力を合わせれば、

ば、きつと素晴らしいことができるでしょう。」

「大きなことをする必要はありません。小さなことに、大きな愛を込めればよいのです。」

「世間の目から見ても、わたしたちの働きは無駄かも知れませんが、心の目で見たとき、意味を持つのは愛なのです。」

また片柳神父が、身近に接し、受け入れ、解釈したマザーの思想として、

「自分を愛し、大切にできない人は、他人を愛し、大切にはできない。人は自分を愛するようにしか、他人を愛せない。」

「セルフイメージと現実との差異に人は失望する。失望や絶望は人の思い上がり、高ぶりが原因。落ち込むということは、落ちるということであり、高みに立っているから落ちる。自分の過大評価が原因。できないのに、できると思いこませられることが悪魔からの誘惑。優秀であると思いきませ、できない現実を突きつけて、絶望に追いやる。受け入れられない現実を突きつけられて、周りを非難するが、人のせいにはできない時、自

分を責めて落ち込む。精一杯努力した自分を責めさせる。こんなはずじゃなかったと悔やむが、そうなるはずのことがそうなただけのこと。非常に心理学的に巧妙な罠。思いつき、傲慢という罠があちこちに仕掛けられている。人類の殆どがこの罠にかかって破滅する。」

「くがでなければ愛されないと、現代の競争社会では、でなければ愛される価値がないという思いに、人は強迫的にかき立てられている。人より優れなければ愛されない。できなくなったら愛されないという恐怖心が人を突き動かしている。だから自分の能力を周囲にアピールして、自分より劣っている人を見下し、自分より優れていれば嫉妬心と劣等感を抱く。このような生き方では幸せにはなれない。」

「何もできない人でも、何もできないということができない。できないではなく、できることが違うだけ。一人ひとりに神から与えられた役割の相違があるだけ。」

「神から与えられたあるがままの自分を受け入れること。できない自分も、できる自分も受け入れ

障害者週間行事

法人本部
業務執行理事 白井正和

る。精一杯、実行することが人のすべて。」
「能力があるからその人に価値があるのではない。人が存在し、人と人との間に愛が、優しさがあるから、この世の中には価値がある。本当に意味があるのは愛だ

け。最後まで残るものも愛だけ。」
「キリストが2000年前に伝えたことは、人の命はかけがえのない大切なもの、何ができなくても価値があるということ。」
片柳神父様、お忙しいところ本当にありがとうございます。

平成30年度の障害者週間行事（ボランティア感謝式、福祉作文

た。講師は文化放送のアナウンサー

コンクール、講演会）が東総文化会館小ホールにおいて開催されました。当法人職員をはじめ地域の方々の参加をいただき当日申し込みの方も多く会場はほぼ満席となりました。



ボランティア感謝式

をいただきました。

以下は講演の中でお話しいただいたキーワードです。

今年度の講演の講師は落合恵子氏による「介護の現場から（わたしの介護日誌）」というテーマで講演をいただきました。桑島理事長より講師について推薦があり、29年度に依頼したところ、調整ができず2年越しでお越しいただくことができました

- 女性の社会進出について
- マイノリティが普通でないとい

うこと、普通とは何なのか
○差別について

○介護する人、される人は対等であり横並びの関係である。

○母親の介護を通して、親子なので一緒に暮らしたいこととそれぞれが個人としての人生がある。

○東日本大震災（3・11）における福島原発の事故、その後はまだ終わっていない。

○分からないことを分かったふりをする。社会はどっちに向かっているのか

○国は多くの借金をしている。命を奪う方にお金をかけている。命を救う方にお金を使う必要がある。

○講師の新作小説『泣きかたをわすれていた』では、自身の生活と重なった内容で認知症の母を自宅

介護し、壮絶な介護の中にも幼い頃からの母親の愛情を思い、自分が母が介護を必要とした年齢になり、家族や友人、愛する人達との別れを経て人生のおわりを

最後に東日本大震災・被災地の岩手県の応援歌として、クレヨンハウスが制作した、子どもたちの歌「空より高く」を流して終了しました。講師の優しさで力強さを感じる事ができ多くの参加者が感動し、非常に好評だったかと思

います。
講演終了後は市内にあるMadoka（地域貢献の活動の場）に立ち寄り見学していただきました。



福祉作文コンクール

有限会社ブライトピックグループ様からの寄贈について

東総就業センター 主任雇用支援ワーカー 平野秀樹

有限会社ブライトピックグループ

は、神奈川県に拠点を置き、千葉県では旭市・銚子市・香取市・東庄町に農場を持ち養豚事業を展開されています。創業以来50年の長きにわたり、畜産を通じて食の安定供給で社会貢献をモットーとして養豚事業に取り組みられています。その一つとして、食品の余剰生産分を飼料としてリサイクル活用し、循環型養豚を進めております。また、もう一つの取組みとして「チャレンジ」と称する障害のある方の力を最大限活用した事業を展開しております。旭市にある溝原飼料工場では平成19年の開設当初より障害のある方を多数雇用されており、開設後10年経過した現在でも17名の障害のある方が活躍されています。主な業務内容は段ボール等から原料を開封する業務や異物混入の確

認業務、開封した原料を収納するダンベの洗浄業務、フォークリフトを運転して原料の管理、工場内の清掃等を行っています。

これらの業務と障害のある方との職業適性の確認や、職場への定着支援を東総就業センター及び香取就業センターにおいて企業の方と連携を図り取り組んでいます。東総就業センターが設立当初より10年以上雇用のサポートをさせていただいております。



この度、これらの支援活動に対し評価をいただいた、「感謝状」と「謝礼」を頂きました。「謝礼」にて、高圧洗浄器と当事者の会の活動をより充実した形で実施できる様にテントを購入させていただきました。

センター事業の一層の充実を図り、障害者雇用の更なる促進と地域で暮らす障害のある方の支援に役立てたいと考えています。

さわやか芸能発表会

聖家族園 石坂一平

第27回を迎えた「さわやか芸能発表会」は12月4日(火)千葉県文化会館大ホールを会場に、舞台発表部門12団体・展示部門10団体、観覧52団体の計1329名で盛大に行われました。今回は、練習の段階から利用者の意見も積極的に取り入れ、ディズニーの曲をやりたいという意見が多かったため、ディズニーとクリスマスを組み合わせた演目「Christmas of Disney」を発表してきました。内容は、ホイッスルの音を合図に「ミッキーマウスマーチ」が流れ、利用者が舞台袖から行進しながら入場↓長老サンタが他のサンタ達にクリスマスマスの準備が進んでいるか尋ねる↓準備ができていないことを知り、「急いで準備にとりかかるんじゃー!」と言う↓「ジングルベル」の曲に乗せて歌ったり、鈴を鳴らしながら準備を進める↓準備が終わり、「世界中の子どもたちにプレゼントを配りに出発

じゃー!」「エイエイオー!」と言う↓皆で横一列に手をつなぎ「小さな世界」を合唱して大団円。最後に「メリークリスマス」と書いた布を広げると、「おおっ!」と会場から歓声も聞こえてきました。

おながくクラブも活動開始から5年目となり、各行事での発表、ふたば保育園での出張演奏、飯岡しおさいマラソン大会での応援等様々な経験を積んで本番にとても強くなり、練習以上の成果を出すことができました。結果は残念ながら敢闘賞でしたが、次は最優秀賞を目指してこれからも活動を行っていきます。



今年度もMadookaクリスマスフェアを開催!

Madookaプロジェクト 管理者 井上創

冬休みの初日となった平成30年12月22日、今回も旭市街地において『クリスマスフェア』を開催させて頂いていただきました。当日は、雨天とあいにくの天候ではありませんでしたが、それにもかかわらず、地元の小学生を中心としたたくさんの方の親子連れや市民の皆さまにもご来場いただきました。



このMadookaにおける活動の目的は、当会の地域福祉活動のひとつと位置づけています。すなわち、子どもさんから高齢者、あるいは障がいのある人もない人も、地域のあらゆる住民が役割を持ち、助け合い支え合いながら、自分らしく活躍できる「地域共生社会」の実現を目指した活動のひとつです。クリスマスフェアは今年で4回目となりますが、今回も

ご来場者に支えられ、企画・運営・実施をさせて頂いていただきました。手づくりではありませんでしたが、さまざまなチャレンジ企画やお楽しみコーナーが用意され、歓声がこだましました。「わなげ」や「フリースロー対決」、「おもちゃ病院の皆さまによるチャレンジゲーム」「未来への手紙」など、また腕をふるった「模擬店エリア」など、あっという間の1日となりました。

すべての皆さまに御礼申し上げます。これらの活動が、この地域の未来を支える子どもたちのチカラとなることを願っております。

趣旨をご理解いただき、準備やご協力いただいた職員の皆さま、また年末の土曜日とご多忙の折にもかかわらず当日参加、あるいは足を運んでいただいた

イオンサント

聖母療育園 宮内みさき

12月15日に行われたクリスマス協会に、イオン旭店より2名の方がボランティアとして参加していただき、利用者さんと段ボールツリーの制作をしていただきました。さらに店長さんにはサントになって利用者の皆さんに靴下のプレゼントをいただきました。

イオン旭店様には、これまでもお忙しい中クリスマス会に参加していただき、利用者さんや職員も素敵なクリスマス会を過ごす事ができました。頂いた靴下は大切に使用させていただきます。イオン旭店様、クリスマスプレゼントをありがとうございます。



靴下カバーの寄附

聖母療育園 主任 川島恵子

松井安俊評議員から御紹介の椎名雪江様より、今年も手作りの靴下カバーを沢山頂きました。落ち着いた柄や可愛い柄があり、さっそく利用者にあつたものを選び、クリスマス会で使わせていただきました。



これから寒い冬に向かう季節にピッタリです。愛情のこもった暖かい贈り物ありがとうございます。

素敵な手作りプレゼント

聖ヨセフつどいの家 川尻信子

この度、聖ヨセフつどいの家に聖心女子学院中等科の皆様より、お菓子の詰め合わせとクリスマスマスのオーナメントを沢山頂きました。

手作りの可愛い飾りを皆でツリーに飾り、その後お菓子を食べて子供達も笑顔いっぱいになりました。心温まるプレゼントありがとうございました。



ご寄附に感謝

聖母通園センター 所長 高安きみ江

昨年、聖母通園センター家族会様及び千葉県重症心身障害児・者を守る会東総分会様より、クッションチェア各1台ずつ（計2台）ご寄附いただきました。以前使用していたものはだいぶ傷んでおりましたので大変ありがたく、利用者さんの活動や水分補給・リラクゼーション等有効にまた大切に使用させていただきます。



餅つき大会

社会福祉協議会様より頂いた餅米で、12月22日に体育館にて毎年恒例の餅つきが盛大に行われました。黒潮会さんはじめ、学生ボランティアさん達協力のもと、つきたての餅をあんこ餅や辛味餅、お雑煮に入れて皆で美味しく頂きました。餅つきには、利用者さん



も力いっぱい杵をあげ、「よいしょっ、よいしょっ」の掛け声と共に餅をつく場面もあ

新任者紹介

聖家族園



支援員

及川 晴美

初心を忘れずがんばりますのでよろしくお願いいたします！

り、笑顔のたえない楽しい会となりました。

ナザレの家あさひ 牧本陽子

社会福祉協議会様より、もち米のご寄附を受け、1月4日恒例の餅つき大会を執り行うことができました。お陰様で、口いっぱい頬張り嬉しそうに笑う利用者さんの姿が見ることができ、今年も良い一年のスタートを切ることができました。ことを感謝いたします。

みんなの家 金井優



ナザレの家あさひ



支援員

佐久間 寿

11月より勤務されています。体操で培った柔軟性を仕事でも活かしてくれています。今後の活躍を期待しています。

香取障害者支援センター



相談支援専門員

平山 美和子

いつも明るく、元気な平山さん。テキパキと仕事をこなしますので、どうぞよろしくお願いいたします。

第27回福祉作文コンクール入賞者

小学4年生の部

1席 旭市立中央小学校

金谷 実咲輝

2席 旭市立豊畑小学校

石毛 歌楽

2席 旭市立豊畑小学校

飯島 真響

2席 旭市立古城小学校

野口 璃子

3席 旭市立中央小学校

平山 時季子

3席 旭市立干潟小学校

平山 和奏

小学5年生の部

1席 旭市立豊畑小学校

釜形 優衣奈

2席 旭市立豊畑小学校

宇井 凜桜

2席 旭市立中央小学校

小川 緩菜



3席 旭市立干潟小学校

長谷川 航汰

3席 旭市立中央小学校

越川 佳音

3席 銚子市立双葉小学校

小林 茉緒

1席 旭市立豊畑小学校

石橋 陽光

2席 旭市立中央小学校

林 青空

2席 旭市立共和小学校

丸山 心優

3席 旭市立中央小学校

大木 愛結

3席 旭市立琴田小学校

鈴木 悠太

3席 旭市立干潟小学校

鈴木 義央

中学1年生の部

1席 旭市立海上中学校

浅野 美咲

2席 旭市立第一中学校

稲村 心愛

2席 旭市立第二中学校

江波戸 莉夢

3席 旭市立飯岡中学校

菅生 果玲采

3席 旭市立海上中学校

飯田 翔太

3席 匝瑳市立八日市場第一中学校

今井 香純

中学2年生の部

1席 銚子市立第六中学校

金子 瑞季

2席 旭市立飯岡中学校

岩瀬 蓮

2席 旭市立飯岡中学校

加瀬 野乃香

3席 旭市立第二中学校

宍倉 美波

3席 銚子市立銚子中学校

川村 陽花里

3席 旭市立飯岡中学校

石井 奏音

3席 旭市立第二中学校

埜 唯吹

1席 旭市立第一中学校

成井 希帆

2席 旭市立飯岡中学校

渡辺 大介

2席 匝瑳市立野栄中学校

佐々木 香花

3席 旭市立飯岡中学校

平野 奈々美

3席 旭市立海上中学校

伊藤 彩弥香

3席 匝瑳市立八日市場第一中学校

及川 愛莉

中学3年生の部



第27回福祉作文コンクール入賞者のみなさん (平成30年12月8日撮影)



ご協力ありがとうございました。

ボランティア感謝式受賞者

平成30年度ボランティア感謝式の
 受賞者に、賞状と、ささやかな記念
 品をおくらせていただきました。
 受賞者は次の方々です。

- ◆ 旭市立矢指小学校 様
- ◆ 石橋 競 様
- ◆ 顔 任 苡 様

- 野日五大田
- 中高田割宮
- 猛好日紀民
- 夫規子幸子
- 齊阿川藤鈴
- 藤嶋井木
- 紀さ幹伸百
- 子つき生枝子

千葉県社会福祉事業共助会長期在籍会員顕彰



ロザリオの聖母会
平成30年度永年勤続表彰

- | | | |
|-----------------|-----|---------|
| 郡長岡國勝平草相常石字小福黒伊 | 柏海井 | 【勤続20年】 |
| 谷川田本股野野澤田田井澤島田藤 | 村上上 | 【勤続10年】 |
| 賢麻俊麗歩君 一多和く美美和輝 | 健 | |
| 一紀正雅美江誠宏子也み子果枝美 | 聡久創 | |

- 鈴木秋小越中飯学
- 木山宮川曾島法人
- ヒ世和一保英愛心
- サイ衣彦幸子明学園
- 様様様様様
- 白百合幼稚園様
- 池田真人様
- ハヤシ家電サービス様
- 山口英一様
- 小関友紀子様
- 椎名義子様
- 田本明様
- 聖心女子学院五月会様
- カトリック西千葉教会様
- 菅井和正様
- 荒川晴男様
- 田子雄介様
- 渡邊公伸様
- まつざわコーヒー様
- 吉田佳代子様
- 田辺弘子様
- 学校法人愛心学園

寄附者御芳名

平成30年
 10月1日
 ~
 12月31日

- 鈴木高木
- 井上春
- 海田上
- 吉田陽
- 柏村
- 聡子
- 久創
- 江子

千葉県社会福祉協議会会長表彰

大木 俊幸 様
遊技場 組合 様
椎名 雪江 様
鈴木 洋志 様

聖心女子学院 様
AMECコンサルティング(株) 様
木村屋建築設計事務所 様
日本カーソルユニシヨンス(株) 様

第29回ロザリオ福祉まつり
寄附者御芳名

「今年度は台風の影響により中止になりましたので、
来年の「ロザリオ福祉まつり」に使わせていただきます。」

宇井 弘子 様
多田 まさ子 様
鈴木 洋志 様
札幌聖心女子学院
井出 美美子 様
松井 安俊 様
谷 裕世 様
七種 洋子 様
内海 京子 様
橋本 芙起子 様
藤原 利枝子 様
山中 知恵子 様
堀川 洋子 様
菅原 智子 様
聖心会修道院 井出 様
大嶋 源子 様
宮崎 輝子 様
丸山 淑子 様
小幡 厚子 様
浪川 君江 様
久米 倫男 様
伊藤 幸子 様
遠藤 とも子 様
総武 ガス(株) 様
八木 和美 様
魚山 保光 様
浜野 富美子 様

(南山崎防災設備 様)
子安 順子 様
伊藤 勇 様
エノモト ミヨコ 様
サンモールシヨッピング
センター事務局 様
佐久間 登代子 様
小川 浩章 様
そば処千曲 鈴木良枝 様
島根 marie 様
平山 幸市 様
並木 孝仁 様
高瀬 博史 様
原田 裕子 様
岩瀬 富子 様
岩瀬 ふさ子 様
柴山 記代美 様
北総 穂科 様
加藤 恵美子 様
関 文子 様
佐々木 秀子 様
斉藤 英明 様
鈴木 完勇 様
林 和子 様
魚山 保光 様
銚子 教会 様
金井 芳子 様

伊賀 まゆみ 様
鈴木 みわ子 様
林 伸 様
千葉科学大学
吉野・大胡 様
竹内 進 様
高野 万智子 様
伊藤 美耶 様
實川 慶子 様
大石 友見子 様
(旬)片山肉店 様
(旬)高野燃料店 様
まつざわコーヒー 様
(株)江東微生物研究所
木内雅宏 様
大嶋 源子 様
(株)千葉測器 様
(株)ホワイトローズ 様
多田 真理子 様
鈴木 好雄 様
武井 敏江 様
日本カーソルユニシヨンス 様
小林 良枝 様
平山 和久 様
(株)トラヤ 様
木内 由美子 様
(株)二宮 総行 様
千葉興業銀行 旭支店 様
NIT東日本南関東
銚子営業支店 副島賢治 様
社会福祉法人 徳寿会
介護老人福祉施設 しょうぶの里
カトリック東金教会
小沢茂 様
大塚 麻美子 様
(旬)ユニシオン電設 様
社会福祉法人
九十九里ホーム 様
ダスキランチャイアスチエン加盟店
(旬)青野商店 ビジネスサー
ビス部 係長 野口 糧 様

河内 智子 様
鶴澤 聡 様
常世田 好 様
荒井 のり子 様
田向 信子 様
伊豆 朋晃 様
椎名 厚加 様
伊藤 美加 様
佐瀬 耕樹 様
上代 聡子 様
栗原 正道 様
吉田 賢一郎 様
甲賀 裕美・淳子 様
コスミック 様
伊藤 友綺 様
宮澤 武志 様
土屋 浩樹 様
齋藤 いずみ 様
吉田 達夫 様
梅室 知子 様
吉川 幸子 様
塚本 瑞紀 様
大木 知子 様
太田 綾 様
大胡 雅己 様
安藤 裕美 様
手崎 珠希 様
床崎 恭佑 様
宮崎 達也 様
日向 沙織 様
加藤 里穂 様
林 勇佑 様
安藤 裕子 様
石井 卓磨 様
石毛 孝一 様
藤原 直紀 様
佐野 富美男 様
大関 裕美 様
工藤 玲子 様
宮崎 まさ子 様
田中 葵 様

石毛 京子 様
村田 幸子 様
大塚 美恵 様
林 とも子 様
鈴木 あや子 様
鈴木 敏明 様
鈴木 規子 様
大木 規子 様
斉藤 佳美 様
尾形 佳美 様
聖家族園家族会 様
千葉県ヤクルト販売(株)
東部支社 様
聖家族作業所家族会 様
新川 ちよ子 様
奥田 徹 様
飯島 三奈 様
関塚 充恵 様
伊藤 みな 様
鈴木 克美 様
平野 知子 様
椎名 きよ子 様
渡辺 茂 様
ペンシヨンたんぽぽ
廣瀬重子 様
山口 弘子 様
大八木 久予 様
佐藤 やよい 様
志村 艶子 様
実川 喜美子 様
鎌形 京子 様
高橋 れい子 様
清水 睦子 様
小池 京子 様
君塚 範子 様
菅谷 敏博 様
江川 恵子 様
柴田 直美 様
前田 久枝 様
柴田 ミサ子 様
柴田 文雄 様
加藤 伸雄 様

平野 光子 様
田中 絹子 様
長嶋 義夫 様
吉田 政男 様
岩野 和子 様
高野 真子 様
玉造 千種 様
根本 千美 様
黒田 明美 様
石井 周作 様
太田 正義 様
大木 正明 様
西山 節子 様
菅谷 千恵子 様
飯田 敬子 様
小関 洋子 様
吉田 恵子 様
浦尻 和子 様
片野 謙一 様
山川 裕志 様
森 昌子 様
鈴木 昌和 様
土方 美久 様
林 義久 様
下河邊 博 様
大橋 美江子 様
根本 次雄 様
根崎 洋子 様
手崎 洋子 様
岩瀬 洋二 様
青柳 義見 様
大原 英太郎 様
多田 広 様
林 由理 様
角田 政信 様
向後 恵子 様
藤田 あつ子 様
広野 宣江 様
ヤマサ 醤油(株) 様
櫻井 謙二(商店) 様
ヒゲタ 醤油(株) 様

Photo Gallery

★デイサービスセンター・ローザ★



クリスマス会楽しんでいきます。

サンタと
ハイポーズ♪



★ナザレの家かとり★

横浜全体外出☆
ハイポーズ!



乾杯☆

今年もお疲れ
さまでした〜!

★聖家族園★



無事に山頂に
辿り着いたぞ〜!



フアイトー!

マリアデイ
サービス



職員の劇を
楽しみました。



ゆきだるま
さん!?!と
メリークリ
スマス!!

トロッコ列車!
♡風が気持ちいいね♡

【成田ゆめ牧場】



かわいいねえ

★聖マリア園★

サンタさんからプレゼント！
やった～＼(^o^)/☆



秋の味覚♪
美味い～＼(^o^)/☆

★佐原聖家族園★

★YMCAのダンス★

盛り上がって
踊るぞー！！



クリスマス会
楽しー！！



★聖母療育園★

サンタさんから
プレゼントもらったよ♪



★聖ヨセフつどいの家★



メリー・クリスマス！



クリスマスランチ
おいしいな！

★みんなの家★



毎年恒例
忘年会
＼(^o^)/

お餅おいし
かった～



★聖家族作業所★



忘年会にてー



トナカイ
捕まえた！！

お知らせ

Happy Valentine's Day!



生チョコタルト箱入り ¥1,000



**チョコロールケーキ
箱入り ¥1,100**



ガトーショコラ箱入り ¥1,500

今年もバレンタインの季節がやってまいりました。
みんなの家のチョコロールケーキ・チョコタルト
ガトーショコラのご注文を
スタッフ一同 心よりお待ちしております

みんなの家 TEL 0479-60-0607

- ## 行事予定
- 31. 1. 4 新年あいさつ会
 - 8 法人運営会議、研修委員会、研修会議
 - 9 経営会議、総合安全対策委員会、地域生活支援連絡会
 - 11 クリーンデー
 - 15 法人運営会議
 - 16 経営会議
 - 17 通所事業所連絡会議
 - 23 理事会
 - 30 施設・事業所長会議
 - 2. 5 法人運営会議
 - 6 経営会議、総合安全対策委員会、地域生活支援連絡会
 - 8 クリーンデー
 - 12 法人運営会議
 - 13 経営会議
 - 19 法人運営会議
 - 20 経営会議、施設・事業所長会議
 - 26 法人運営会議
 - 27 経営会議
 - 3. 5 法人運営会議
 - 6 合同研修会（研究発表会）、経営会議、総合安全対策委員会、地域生活支援連絡会
 - 8 クリーンデー
 - 12 法人運営会議、研修委員会、研修会議
 - 13 経営会議
 - 16 後援会役員会、通所事業所連絡会議
 - 19 法人運営会議
 - 20 理事会、経営会議
 - 26 法人運営会議
 - 27 評議員会、経営会議、施設・事業所長会議

本誌のバックナンバーを
ロザリオウェブサイトに
(<http://www.rosario.jp>)
に掲載しています。

◆ 随時面接を行っておりますので、
本部事務課までご連絡ください。
TEL 0479(60)0600
(担当 採用係)

職員募集のお知らせ

TEL 0479(60)0600
(担当 仲條)

ボランティア募集のお知らせ
ロザリオの聖母会では、施設や利用者のために常時ボランティアのご協力をお願いしています。お願いのできる方は是非、ご連絡ください。ご協力をお願いします。

問い合わせ
TEL 0479(60)0600
(担当 仲條)

医療	海上療養所	訪問看護ステーション	ソフレイ	就労継続支援B型事業所	ワークセンター	医療型障害児入所施設・療養介護事業所	聖母療育園	生活介護・児童発達支援・放課後等デイサービス(重点)	聖母通園センター	児童発達支援事業	ロザリオ発達支援センター	児童発達支援事業	旭市子ども発達センター	障害者支援施設	聖マリア園	障害者支援施設	聖家族園	障がい者の就労促進事業所	みんなの家	生活介護事業所	聖家族作業所	共同生活援助事業所	ナザレの家あさひ	高齢者支援事業	ロザリオ高齢者支援センター	ロザリオ訪問介護事業所	通所介護・介護予防通所事業所	デイサービスセンター・ローザ	障害者支援施設	佐原聖家族園	生活介護・放課後等デイサービス	聖ヨセフつどいの家	共同生活援助事業所	ナザレの家かとり	地域生活支援センター	友の家	中核地域生活支援センター	海匠ネットワーク	障害者就業・生活支援センター	東総就業センター	香取市相談支援事業	香取障害者支援センター	障害者就業・生活支援センター	香取就業センター
----	-------	------------	------	-------------	---------	--------------------	-------	----------------------------	----------	----------	--------------	----------	-------------	---------	-------	---------	------	--------------	-------	---------	--------	-----------	----------	---------	---------------	-------------	----------------	----------------	---------	--------	-----------------	-----------	-----------	----------	------------	-----	--------------	----------	----------------	----------	-----------	-------------	----------------	----------